



広島市食検だより

2018年9月 第48号



新・と畜検査管理システムを導入しました

当所では、と畜場法に基づいて、獣医師の資格を持つ「と畜検査員」が1頭ごとにと畜検査を行い、検査データをデータベースに集約して、コンピューターシステムにより各種集計が行われています。平成30年1月より、新たなと畜検査管理システムを導入し、検査結果入力方法がオペレーター方式からタッチパネル入力方式に変更となりました。



検査員が結果をマイクで発信



無線で音声を受信し、オペレーターがPCに入力

★従来のヘッドセットマイクで音声入力する方式では、解体作業や機器類の騒音、外部ノイズなどの影響を受ける場合もありました。



検査結果を1頭ごとに検査員がタッチパネルで入力



性別や品種などの生体情報や、頭部、内臓、枝肉検査で入力された検査結果を、どの端末からでも確認できます。